

令和5年度、令和6年度の災害派遣規模の比較等について

防衛省

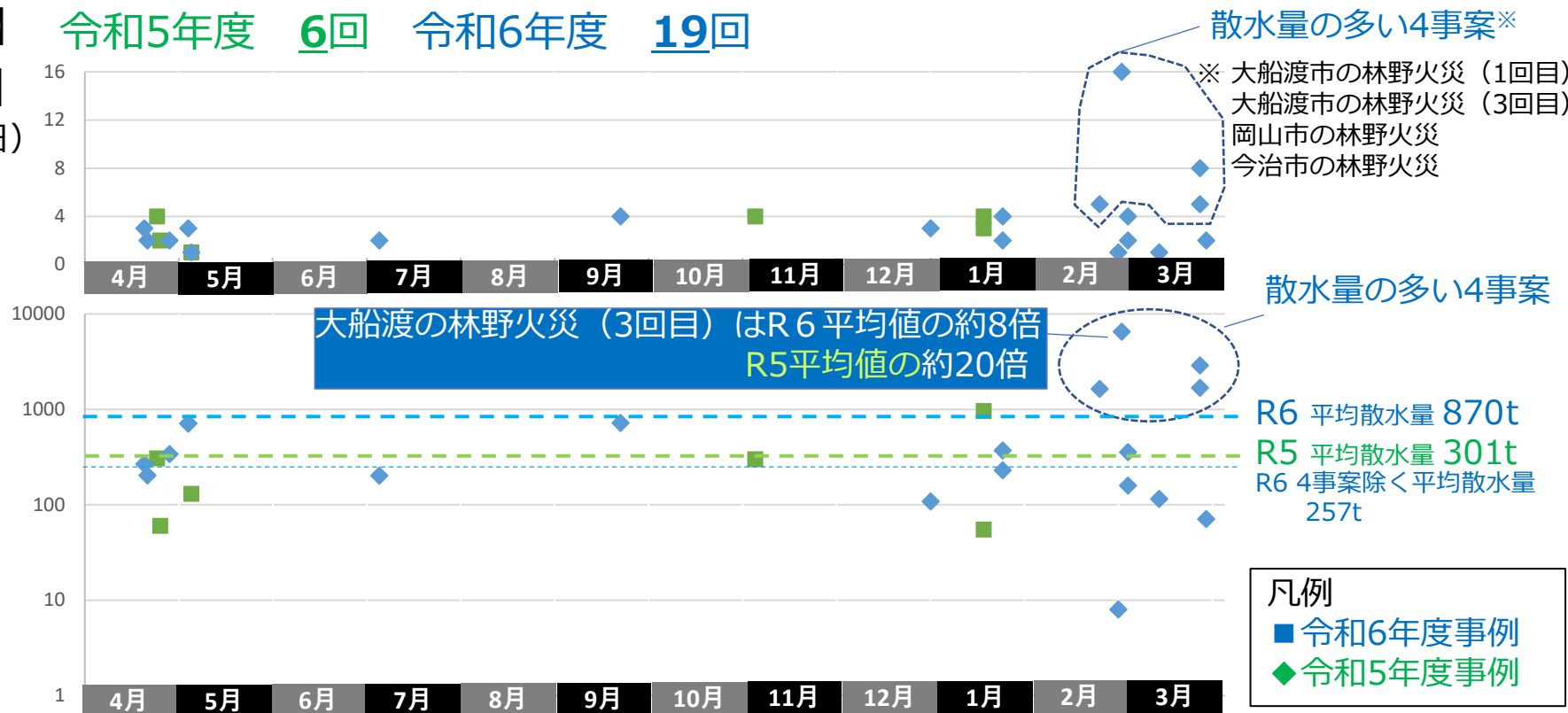
林野火災に対する令和5年度と令和6年度の災害派遣活動実績の比較

【活動回数】 令和5年度 **6回** 令和6年度 **19回**

【活動日数】
(日)

【散水量】
(t)

※ 対数である
ことに注意



※令和6年度の1事例は散水していないため、グラフに反映されていない

- 特に多かった**4事案は、他の火災に比べて、活動期間、散水量ともに多い**
(参考) 今回検討対象の大船渡の林野火災 (3回目) は、令和3年2月の足利の事例と比べても3倍多い
(大船渡3回目 約6,480 t、足利 約2,000t)

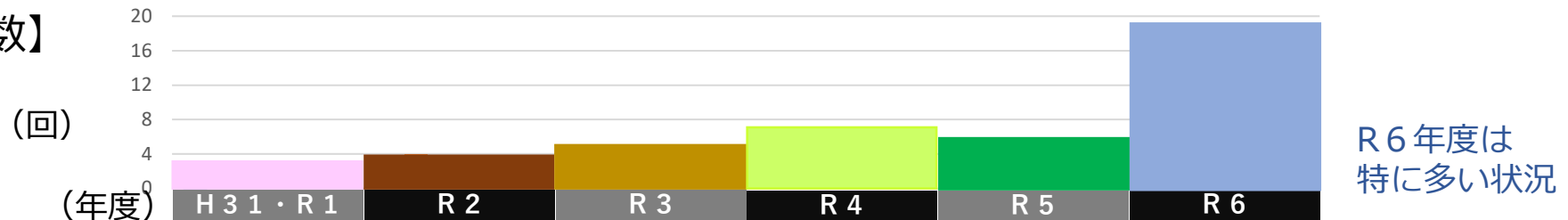
活動日数・散水量が増加しており、**自衛隊航空機(ヘリ)の運用や消火バケットの使用に影響が生じている。**今後も、災害派遣活動に最善を尽くすことに変わりないが、活動期間、散水量を局限するため、消火薬剤等による消火活動の検討が必要。
特に、**消火薬剤については、消火効果・環境への影響を実証・評価するとともに、早期導入できるように活用までのスケジュールを示すことを要望。**

(参考) R1年度からR6年度の林野火災に伴う災害派遣の活動傾向

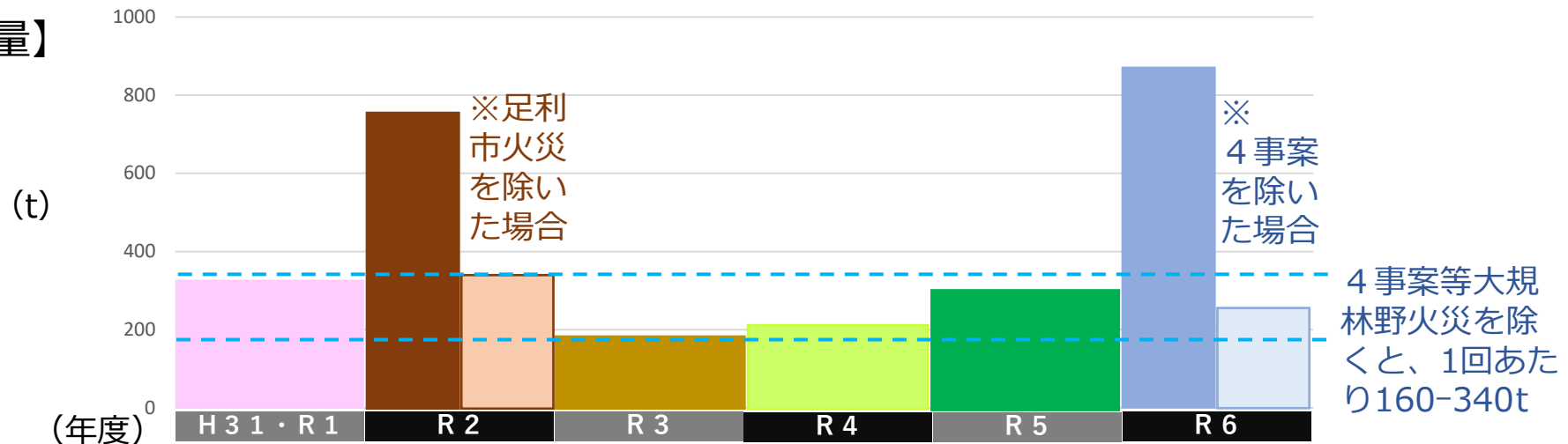
令和元年以降、令和6年度までの傾向を比較すると

- ・ 令和6年度は、散水量の多い大規模林野火災のみならず、活動回数が多い
- ・ 令和5年度は、ここ数年で言えば平均的な年といえる

【活動回数】



【平均散水量】



※ 足利市火災とは、令和3年2月21日に足利市両崖山付近で発生、翌22日要請の林野火災を指す

※ 4事案とは、特に散水量が多かった次の事案を指す

令和7年2月19日要請の大船渡市の林野火災（1回目）、令和7年2月26日要請の大船渡市の林野火災（3回目）

令和7年3月23日要請の岡山市の林野火災、令和7年3月23日の今治市の林野火災